

ページ	大区分	発言数
P2～	再編方針	57
P5～	今後の進め方	41
P7～	校区别協議会(地区別協議会)	22
P10	通学方法	16
P11	校区の意向とりまとめ	15
P12	三成小校舎移転	13
P13	町としての教育ビジョン	14
P14	地域とのつながり、再編後の地域	13
P15	再編後の共用施設(体育館、校庭、ランチルーム)	11
P16	中学校再編の検討	10
P17	周知の仕方	6
P18	放課後児童クラブ	6
P19	跡地利用	5
P20	2021年統合提案(高尾小と三成小)	8
P21	その他	21

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
再編方針	冊子「奥出雲町立学校再編方針」中の言葉の定義及び具体的な内容について	特色ある教育活動の継承の配慮とは？	高尾	現状と全く同じように、全学年で全ての教育活動を継承することは難しいですが、学年別の教育活動であったり、学校クラブ活動や、公民館活動などの社会教育で継承をしていきます。学年で違うことが出来るメリット、ずっと出来たことが出来なくなるデメリットの両方があると認識しています。
		各校の特色ある教育活動をどのように継承するのか、具体的な案があれば聞かせてほしい。	横田	
		事前交流活動や再編後のきめ細やかな指導の内容は？	高尾	事前交流活動については、修学旅行や宿泊研修などのイベントのみならず、普段の授業の中でも学校を行き来しながらの交流活動の機会を持つようにします。再編後も、支援員配置などのサポート体制を構築し、影響がなくなるまではきめ細やかな指導できる体制を維持します。1学年に複数の教員配置は、クラス数が複数になればもちろんのこと、学校全体のクラス数が増えればクラス数以上の教員数の加配があります。幼稚園と小学校の物理的な距離が離れれば、現状より地域とのつながりを含め難しくなることは予想されますが、デメリットだけでなくメリットもあると思うので検証していきたいと考えます。
		資料P15に「複数の教員配置が可能となる」とあるが、何人配置か。また、「再編後きめ細やかな指導を配慮」とあるが、どのくらいの期間、どのようなことをするつもりか。	馬木	
		事前、再編後の交流活動についてきめ細やかな指導を行うよう配慮とあるが、幼稚園と小学校との関わりについてビジョンがあるか。	布勢	
		再編方針P2～3の表について。これは、奥出雲町が同規模の邑南町、隠岐の島町よりも急速に学級数、学級の生徒数が減っているということを表しているのか。であれば、その原因はなにか。	横田	奥出雲町の子どもの数がこの10年で減ってきた状況と、邑南町・隠岐の島町は学校再編もあった中で規模を担保してきたことを表しています。
		平成21年(2009年)の答申では、適正規模は地域関係者、保護者の意見を尊重し、学校、地域、行政が一体となって進めていくことが必要だとある。これを受け、平成30年度の再編計画で継続して協議したと書いてあるが、一体何を継続して協議したのか。	布勢	答申から再編方針の継続性については、答申で今後計画していくとあった各学校別の具体的な実施計画について協議しました。
		2009答申では「15人以下の極小規模校」は統合すべき、との内容。また統合は早いのでは。他地域で統合されたところをみると、非常にさびれているところが多い。地区の活力に直結するので、できるだけまで学校を残してほしい。	布勢	校区別協議会の中でもそのような協議を踏まえた上で、校区の意向を決定いただきたいと考えます。
		適正人数の根拠は。	横田	国では1学年2～3学級規模としていますが、奥出雲町の方針としては、今後の児童数の推移も考慮に入れながら、男女のバランスが保てる20名以上としました。なお、保護者アンケートでも20人程度の規模が良いという結果でした。
		再編方針に「複式が解消されると子どもの負担が減る」とあるが、現状は複式学級の児童には負担があり、偏差値が低いということか。どんな問題が起きているかわからない。	馬木	複式学級であることを理由として、偏差値が低い、高いということはありません。学年別指導(わたり)の場合、自習もあり、人数がある程度いれば学び合いの場になりますが、人数が少ないと難しい面が出てきます。状況にもよりますが、そのような場合や、教科書を2学年分持つなど、子どもの負担はあると認識しています。複式によるメリットデメリットはそれぞれありますし、また、年子の場合でその2人だけの複式学級になれば、兄弟姉妹の関係性が学級の中に出てくる可能性が高くなります。また、その学級に別の子が入った場合、部外者になる可能性も出てくるなど様々なことが考えられます。
	兄弟姉妹が同じ学級になることの、指導上の制約とは。	横田		
	再編方針表明にいたるまでの進め方について	10年前に策定されたビジョン(2009年答申)がなぜ、今になって出てきたのか。	阿井	答申を受けて、具体的な実施計画の作成に着手すべきでしたが、前町長は「学校を地区からなくさない」という考えで、教育委員会と町長の方針が違ったため議論ができなかった事実があります。10年前と比べると児童数は当時の予測よりも下回っており、答申時に指摘された課題はより現実味を増している状況です。保護者アンケートなども行いましたが、今後、この方針を基に、意見を聞きながら議論していきたいと考えます。
		10年前、答申が出された時とは、状況が異なっている。10年前の答申を前面に出して議論するのは、おかしいと思う。	鳥上	
		方針を決定するまでに住民の意見を聞かなかつたのはなぜか。	亀嵩	
		再編統合が決まってからいろいろなことが決められるスケジュールだが、決まってから決めるというのはやっぱり不安。	布勢	
		再編方針に小規模のデメリットばかり書いてある。それを解消する、または活かす取り組みを何かしてこなかったのか。	布勢	以前から合同学習、修学旅行など学校同士の交流や複式の授業研究などを行ってきました。また、地域の方にも様々な関わりの中でご支援いただいています。
基本の再編方針というのは、教育委員会と町と全く同じ考えのもとでなされたのか。		鳥上	ご指摘の通りです。	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答	
再編方針	再編方針表明にいたるまでの進め方について	参観日などで布勢小の現状を見ると、本当に統合の話をするべき時期か、と疑念あり。再編方針が統合ありきの内容にしか見えず、やり方が乱暴。	布勢	再編決定ありきではありません。まず、客観的な情報から未来を推測し、今後学校と地域がどうあるべきかを住民の皆さんにも一緒に考えていただきたいと考えています。これまではそのような機会がなかったと認識しています。再編の話をする前に耐震化工事を行ったことはご指摘の通りです。この10年間、町長部局と教育委員会の考えの相違がありましたが、今回の方針については、町長部局と教育委員会と一体の方針として策定しました。町長と住民の皆さんと一緒に話す機会も今後持ちたいと思います。再編方針は、子どもたちの教育環境を考えた上で、教育委員会として最善と思うものを示しました。保護者アンケートで全てを決めるわけではないですが、再編を真剣に考えてほしいとの意見が多くあったことも事実です。今後も協議を重ねて、皆さんに納得いただけるよう進めていきます。他課との協議について、関係ある地域づくり推進課や結婚・子育て応援課等と連絡をしながら、今後も具体的な事項については、協議会にも参加しながら、本格的な協議を更に進めていきます。	
		統合というのは、悪いことではない。本当はもっと早い時期にしてもらいたかった。	阿井		
		再編は決定事項のように伝わり、説明不足。資料の理解が追いつかない。小学校名は公募したらどうか。新しい校舎についてのアンケート・子ども達の意見も聞きたいと思った。	亀嵩		
		10年前に答申が出されて、児童数減は分かっていたことなのに、亀嵩、八川が新築されていることを疑問に思う。	鳥上		
		再編は「現場の対応が困難になっているため」というのは伝わるが、子どもたちのためかどうかは伝わらない。再編は町全体に関わること。いろいろ配慮するところがあるが、本当に可能なのか保護者は不安視し、地域は混乱している。こういう教育環境を作りたい、ということを示してもらわないと納得できない。	馬木		
		再編の計画を立てるに当たって、地域づくりは、地域包括支援センターなど移住、定住担当の課との協議はどれくらいされたのか。	馬木		
	具体的な再編方法について	延び延びになっていた統合を提示されたことに感謝したい。三成小の移転と統合は一齐にスタートすべきと思うが、一年ずらしたのなぜか。	亀嵩	現三成小学校の未耐震状況から、できるだけ早く安全性を確保する必要があると考えるためです。なお、再編後は新たな小学校としてスタートすることを想定しています。今後の状況をみると、さらに少子化が進む中で、一人のみの学年等が出てくる状況があり、町全体で1学年30～40人程度が見込まれる20年後も見据えて再編方針を策定しました。	
		望ましい教育環境の中で、各地区(旧町単位)1校が教育的にも望ましい姿だと教育委員会は思っているのか。	横田		
		1学級20人が適正規模とありながら、横田地域小学校は2028年にギリギリの状況。仁多地区、横田地区合わせての統合検討はしないのか。	亀嵩		
		直近の10年だけでなく、20～30年後についてはどう考えているか。	三沢		
		ICTの活用で、少人数でも多様な意見にふれる事は可能。もっと工夫できるのでは？	馬木		ICT機器などは今後も最大限活用していきます。しかし、子どもは授業だけで育つわけではなく、休み時間や給食など様々な場面で、多様な考えに触れられるある程度の集団の中で過ごし、人間同士の中で成長できることも大きいと考えます。
		切磋琢磨、多様な意見に触れるということは、テレビ、パソコン、本でも可能であり、小規模校でも十分できることではないか。	横田		
		複式、単式など学習の進行状況の調整は期間内のできるのか。	亀嵩		複式学級から単式学級への教育課程の調整は一年間必要です。
		布勢小学校の校舎の改築について、町長、教育長も私たちの前で約束された。布勢住民の意向を無視した再編計画の出し方ではないのか。	布勢		再編の議論、地区の意向を受けた上で、どうしていくかを考えていきます。
	平成29年(2017年)実施保護者アンケートの取り扱いについて	再編方針を決める過程で、町民の意見を聞く機会を持たなかったのはどうしてなのか。保護者アンケートで3年後に2校統合は21%だった。	亀嵩	この方針は決定事項ということではなく、今日(校区別説明会)が議論のスタートと捉えています。3年後および将来について、2校にする、複式学級が解消されるように段階的に統合すべきを合わせて、約8割の方が複式学級の解消を目指して再編を行っていきたく回答され、各校区ごとに見てもその割合は6～9割程度となっています。三成小・横田小以外では複式学級が見込まれる中で、1人学年や同性が1人だけの学年、複式学級を解消をしていく案として策定しました。この案をもとに地区ごとに議論いただきたいと考えます。	
		アンケート結果は段階的統合を回答した割合が多いのに、なぜ再編方針は2校統合となったのか。	布勢		
		アンケート結果では、2校に統合すべきは高尾小1校。統合までは、早急に、まだそこまでは考えていないという風な答えが50%以上9校、60%以上3校。この結果をもって、本当に早急な統合が必要なのか。	布勢		
		アンケート内容が再編ありきに偏っているように見える。アンケート結果のグラフを見ると、横田小、三成小が同じ形になっているのは「母校がなくなる」という意識がないからだろう。他の学校のことも考えて、アンケートが全てではないというようにしてもらいたい。	鳥上		
		保護者アンケートする前の説明がないなど、全体的に準備不足である。	馬木		
		アンケートについては、業者委託をして作られたものか、町独自で作成してまとめられたものか。	布勢		アンケートは教育委員会で作成し、集計も独自で行いました。
		保護者アンケートだけで、子どもの意見が見えない。	三沢		子どもの未来については大人が責任を持つべきと考えます。子ども自身がどう考えているかは、親子でもお話させていただきたいと思います。

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
再編方針	複式学級の考え方について	自身の教員経験から、複式のマイナス面を強調しすぎに感じる。複式で自主性が伸びる場面が多々あった。複式、単式を繰り返さずA・B年度方式で進めていけばいいのでは？	馬木	複式に良い面があるのはご指摘のとおりです。ただ、新しい指導要領を踏まえると国の方針として複式の良さを生かした授業が難しくなっている現状があります。複式学級にすると学力が劣るといった認識は、教育委員会としてはありません。複式、単式を繰り返すのは国県のルールに従う必要があるため、勝手にA・B年度方式で進めることは禁止され、その旨通達も来ています。複式学級を先生の数を増やし解消していくことは、学級のさらなる小規模化になるため、課題の本質的な解決に至らないと考えます。
		複式はよいところもあり、先生はプロなので、そんな怖いことはない。	布勢	
		「複式学級がよくないもの」という1点だけを捉えて結論に結び付けるようなことがあってはならない。	布勢	
		複式学級の解消が再編の必要性と認識したが、複式学級の編成基準を奥出雲町独自に決めて複式学級を解消することができないか。	横田	
		奥出雲町独自の複式編成基準を検討してほしい。	横田	
	これまで及びこれからの町全体としての取り組み方について	統合ありきではなく、町が目指す学校像を基本に、奥出雲町で育ったことを誇りに奥出雲への思いを持ち続ける子どもが育つ、その基本の部分を、統合後において具体的な学校教育の中で生かすようなことを十分検討していただきたい。	阿井	<p>邑南町と比べると、奥出雲町の子どもが減るスピードが速くなったことは事実です。医療費、保育料などが県東部で一番負担が少ないなど積極的な支援を行っていますが、子どもの生み育てる年代（特に女性）が少ないという課題があります。現在、各課横断的な取り組みの中で、子育て世代が家を建てるタイミングで奥出雲町を選んでいない実態を把握してきました。原因を調査し、Uターン者、子どもたちが増える施策を町長部局とともに取り組んでいきます。ただ、（既に出生した部分で言えば）児童が減少していく学校を地域で支えていただくために、関係者全員で何ができるかを考える必要があります。町としてどのような教育をしていくのかというビジョンが重要と認識しています。</p>
		地域のことで教育を考えていかなかった間に「子育てとして魅力的な町でなくなった」、ということか。	横田	
		町外から奥出雲町の小学校に入りたいと思わせる教育環境整備をまず行うべき。統合は最終手段だと思う。	布勢	
		行政がもっと努力し、Uターン、児童が増える施策に取り組むべき。（邑南町を手本に）	布勢	
		再編は町のあり方に関わる大きな問題。町長部局で横断的に対応できる役職等で住民に説明すべき。再編の前に、住民を1人でも増やす取り組みを進めるべき。	布勢	
		今後の児童推移について、それを維持する又は増やすための町は何をしてきたのか、今後何をするのか。	三沢	
		子どもが増えるよう、子育てや教育環境は日本一の奥出雲町となるような思い切った施策してほしい。	八川	
		少子化は全国的なこと。結婚子育て応援課を立ち上げたが、どのような取り組みをし実績が上がっているか。子どもを増やす話が先では？	三沢	
		邑南町との比較があるが、邑南町の児童減少は少ない目。2009年からの10年間、行政としての取組の差がたのでは。	布勢	
		「少子化だから再編」ではなく、教育の充実、医療の充実、働く環境整備をし、子どもを増やし育てる環境をまずは整えるべき。町の施策を10年スパンで見たととき、どのような評価をしているのか教えてほしい。	布勢	
		高尾小に勤務していた時に合併の話があり、住民も含めその方向に進むと思っていたのに当時の町長意向でころっと変わってしまった。今回もそれと同じで、今後町長が変わるたびに覆されるのではと不安。昨年（H30年）の町長選のときに論争があったのか。	馬木	
		議会で町長と教育長が答弁を譲りあうシーンがあった。町長部局は、学校再編にどこまで関与しているのか。	三沢	
		受入予定先（三成小校区、横田小校区）の受け止め方について	再編について受け入れ先（三成小）保護者の受け止めはどうか。	
	統合受入先（横田小、三成小）の関心が低いように思う。横田地域は「横田小学校へ編入」するということか。		八川	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
今後の進め方	意向とりまとめ期限 (2020年7月末)について	意向決定までの期間が短い。地域への影響が大きいため、十分な議論の場を設けて進めてほしい。	亀嵩	期間についてはメリット、デメリットがあると思っています。小学校が残るか残らないか、将来を決める大きなことだと思っていますが、それが決まらなければ、この地区の将来ビジョンが決められないというデメリットもあります。例として、庄原市においては、学校再編の議論を約1年で進められています。期間の中で、できる限り多くの協議を重ねたいと考えます。選挙の提案もありましたが、地区を二分することは地域のためにも良くないと考えています。困難な議論となるかもしれませんが、地区の皆さんと地域の未来、教育の未来と一緒に作っていききたいです。
		一年で結論を出すというスケジュールは大変短いと。延ばす考えはないのか。	亀嵩	
		来年の7月までということだが、通学路の案が出てこないような状況は教育委員会の準備不足を感じる。期間が短すぎるので期限延期を要望する。	馬木	
		7月までの検討期間について、1年と決めたのはなぜか。根拠はあるのか。	馬木	
		再編方針についてもこのスケジュールそのものを撤回して、もう一回根本的にこの統合、再編を町の方針として考えていただきたい。	布勢	
		期限が短い。協議を何回するつもりか。選挙(住民投票)でもしたらどうか。	亀嵩	
		現状から合併やむなしとも思うが、校区としての意向をまとめると言うのなら、協議のスケジュールを示したりなど工夫してほしい。	高尾	
		「複式では教員の運営が大変」だから再編する、と読み取れる。保護者としては、現状の複式の良さを感じる場面もあり、3年後の再編は早い。もう少し話し合いをしながら進めてほしい。	八川	
		統合の判断を高尾校区だけ今年の8月に求められている。2か月でどのように進めるのつもりか示してほしい。	高尾	
	(説明会の)参加者が少ないのは、周知の仕方がまずいのでは。8月に結論を出すためには、工夫してもらわないと困る。	高尾		
	説明会の追加開催について	2021統合を目指すなら8月末までに、あと2回は説明してほしい。	高尾	8月意向決定は、決定事項でなく教育委員会としての提案です。皆さんと一緒に協議を進めさせてほしいと思っています。
		説明会は今日1回だけでなく、もう2回程度すべき。協議会立ち上げはその後すべき。	八川	今回で最後ではありません。校区別協議会を立ち上げながら、今後、どのような形で協議をしていくのかを含めて住民の皆さんと協議していきたいと考えます。質疑情報の共有も随時行います。
		説明会は今回のみか。要望すれば対応してもらえるのか。	三沢	
		説明会での質疑情報の共有については、ネットだけでなく更なる説明会の開催等で伝えていただきたい。	布勢	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
今後の進め方	具体的な協議、検討の方法について	仁多中の統合を経験した者として、保護者の意見を取り入れながら協議を重ねてほしい。	高尾	保護者の意見を聞く機会をもつとともに、保護者の意向が尊重される方法を考えていきます。新しい学校像についても、保護者と議論をしていきたいと考えます。
		数字の上での教育環境は良くなると思う。ただし、通学、体育館、運動場、校庭など学校環境の詳細について丁寧に進めてほしい。学校環境が悪くなれば、更なる人口減が予想される。	三成	
		校舎移転の話と学校再編の話の説明が整理できていない。移転する理由をはっきり示すべき。町の教育ビジョンも示してほしい。	三成	
		思いはあってもなかなか言えないので、保護者の意向が尊重される、小学生や就学前の保護者の意見が集約される方策を考えてもらい、全員が気持ちよく前にすすめるよう配慮していただきたい。	阿井	
		もう少し、子供の親も仲間にして相談したらどうか。亀嵩の全員拍手があるということは賛成だということと思うので、子を持つ親、予備軍の意見は大事に扱ってしてほしい。	亀嵩	
		保護者として、移住してきた立場として、地域のつながりの良さを実感しているが、少子化の状況から統合は仕方ないと思う。地域の皆さんを含めて議論を重ねるために、教育委員会でのサポートをお願いしたい。	八川	
		この説明会で様々な人の意見を聞き、画一的な統廃合、再編だけが全てではないと感じた。多くの地域の方が説明会に参加されて心強い。保護者、子どもはまだがんばれるので、それをくじくような進め方にならないようにお願いしたい。	八川	
		この説明会をスタートとして、いろいろな対策、対応、協議重ねたいのでよろしく願いたい。	八川	
		アンケートを何回もって構わないので、悔いのない形で議論してほしい。	布勢	
		平成26年、高田小学校は地元から強い陳情が出て統合しようとなった。その後、町は今まで何をしておられたのかということを知りたい。統合することになれば、もっと多くの地域住民とか、皆さん全ての意見を聞くべきではないのか。	布勢	
	協議の仕方について、意見が出やすい環境づくりをしてほしい。(今回の会場は、意見を言いづらい)	三沢	車座形式するなど、改善していきます。	
	今回合併をしなかった場合、次に合併を検討する機会はいつになるか。何か基準があるのか。全校児童15人が目安か。	三沢	地区の意向が決定した後に、改めて考える機会を確保していくこととします。	
	学校は地域の拠点。子どもと保護者の思いは大事だが、子どもは地域の宝であるので、「ふるさと三沢」と子どもたちが思えるような取り組みについての協議、専門家の招へい、他地域事例の情報提供などしてほしい。その上で、地域がどうなっていくのか協議できる仕組みを作ってほしい。	三沢	地域とのつながりをいかに守るかは重要であると認識しています。ただ、やり方は全校児童での活動だったものが、公民館や地元NPOなどの協働であったり、学年ごとの関わりになるなど変わっていくことを想定しています。	
	教育委員会とのやり取りについて	PTAアンケートをまとめ提出したいが窓口はどこか。いつ頃回答いただけるのか。やり取りを何回か重ね、保護者の不安を取り除きたい。	三成	教育魅力課が窓口となります。町教委としても協議を重ねていきたいと思っております。(質疑応答には)適宜対応させていただきます。
	協議スケジュールについて	「今後協議したい」という回答では、保護者は不安。通学方法も含め、どのようなスケジュールでどう決めるのか教えてほしい。	三成	協議会の中で、改めてスケジュールを提示したいと考えます。
7月に向けて協議を集約する上で、スケジュール的な導きはありますか。		布勢		
町長からの説明について	町長にも説明会に出席してもらい、住民の意見を聞いていただきたい。	高尾	町長と共有し、校区別協議会等でそのような機会を持てるようにしたいと考えます。	
	学校統合は町全体の問題。町長が説明をすべき。	八川		

今後の進め方

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
今後の進め方	町全体としての取組について	統合については反対しないが、人口推計は町としてのこれまでの取組の反省や評価を踏まえ、今後の政策を打ち出して推計するべき。	八川	全町の課題として、町長をはじめ、関係課と一緒に取り組みます。
		Uターンをしやすいまちづくりをするために、関係課と連携して情報共有をしてほしい。	八川	
		2009年答申から10年たって現状の人口。10年間効果的な政策はうてなかったということ。だからこそ、今回の再編は真剣に取り組むべき。町長が信念を持ち、ある種の覚悟をもって再編について協議を進めてほしい。	八川	
		行政があきらめたら終わり。教育を含め奥出雲町が今後更に魅力的な町になるためにも全力で取り組んでほしい。	布勢	
		通学方法だけでなく、各課と協力して進めていかないと解決しないことが多い。(道路改良など)	三沢	
	情報提供について	複式学級の勉強会があり、当時の保護者の話として「性差バランスなど気にしていたが、成人した今、神経質になる必要はなかった」とあった。そのような情報提供してほしい。	馬木	複式のプラス面、マイナス面は今後も情報提供していきます。
	* その他	2022年に再編が決定した場合、2021年に就学する子は、鳥上小学校、横田小学校のどちらに就学するのか。	鳥上	鳥上校区の方は鳥上小に通っていただくことが基本です。再編後、現横田小学校の場所に通うのは間違いないですが、再編後は「旧横田町地域の新しい小学校」として生まれ変わることを想定しています。区域外通学については、個別事由により判断する事案ですので申請を受けた段階で真摯に回答したいと考えます。
		鳥上小学校の児童が統合前に横田小学校に入りたいといった場合、教育委員会は、どういう形で回答するのか。	横田	
		布勢小が再編に加わらない場合、直ちに学校の安全確保とかの事業に取りかかってもらえるのか。町の方で責任を持って学校の改修等を進めていただけるという考えていいのか。	布勢	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
校区別協議会 (地区別協議会)	立ち上げ方について	地区協議会(校区協議会)は誰が中心となって立ち上げるのか。地区に任せるのではなく、町として主導する考えはないか。	三成	新規立ち上げ、既存組織の活用など地区の実情によって異なるところもありますが、教育委員会とPTA役員、自治会長、自治会長、幼稚園保護者会役員の皆さんと事前打ち合わせをしながら、教育委員会も立ち上げを支援します。
		校区別協議会の進め方がわからない。誰が音頭取りをするのか。	布勢	
	協議スケジュール及び 構成員について	地区別協議会の具体的なスケジュール、構成について見えてこない。	阿井	説明会の後、協議会の立ち上げをする中で、構成メンバー等について他地区の情報も共有しながら進めます。自治会長や小学校のPTAの代表、幼稚園の保護者代表を想定しています。地区の現状によって、振興会、学校に関わっている人などの想定もあります。地区の意向に即し組織化の支援をします。
		期限までの具体的なスケジュールを知りたい。	亀嵩	
		準備協議委員会の人選は。	横田	
		協議会のメンバーは、指名か。何人くらいか。	横田	
		協議会の顔ぶれについてはこれから検討するのか。	横田	
		協議会のメンバーでPTA会長が決まっていれば、準備委員会に移行した場合、新しいPTA会長が引き継ぐことになるのか。	横田	
		立ち上げの時期はいつごろか	布勢	
		地区協議会(校区協議会)は、子ども持つ保護者、若い住民に是非参加してほしい。	三成	
		地域とのつながりを強調しすぎてもいけない。子どもの将来にとって何が一番良いのかを第一に考え、子どもを持つ保護者の意向を大切にしてほしい。協議会メンバーも希望している人は入れるようにし、排除しないでほしい。	三沢	
		校区別協議会は、町長の説明を聞いて地域が納得した後立ち上げるべき。	八川	
	自治会長へなんでもお願いして、協議会運営を自治会長責任にさせるやり方はおかしい。全体の説明会をもっと開催すべき。	八川		
	運営予算について	地区別協議会でしっかり学んでいくために視察なり講師を呼んだりする予算がつけてもらえるのか。	亀嵩	活動予算については、各校区で事務経費の措置ができるよう検討します。
		地域協議会で、視察や協議会運営の費用は教育委員会への請求でいいのか。	馬木	

校区別協議会

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
校区別協議会 (地区別協議会)	*その他	保護者の意見の集約の仕方など、それぞれの協議会で決めることになるのか。教育委員会から集約方法の提示はあるか。	横田	校区ごとに10の協議会ができるので、それぞれで話し合ってくださいと想定です。他市町村事例を情報提供したいと考えます。
		以前の高尾小統合の際の地域との協議について、当時のスケジュールや協議回数を知りたい。	馬木	説明会の後、全戸アンケートを実施され、その7か月後に結論の報告を受けてました。その間、検討委員会や保護者会など5回の協議をされています。
		再編ありきの説明に聞こえる。再編する、しない地区意向は、地区別協議会で決定するのか。住民投票は考えていないのか。	八川	はじめから住民投票により地域を二分することは避けたいと考えます。話し合いで進めていきたいと思っています。
		再編スケジュールで地区別協議会の「地区」ほどの単位を示すのか。	横田	地区別という表現を使っているが、小学校区別に協議会を立ち上げさせていただきたいと考えます。
		協議会での協議は、統合するしないの話し合いだけか、10年先までの議論をするのか。	横田	横田小学校の場合は受け入れる側になるので、ご理解をいただきながら再編をしていただけるよう今後の協議会を進める中で固めさせてもらえればと思います。
		校区というのがそもそもあるのか。	横田	現在は校区制を敷いています。
		1回目の説明会后、協議会を立ち上げ、2回目の説明をした地区があるか。	馬木	三成小校区、高尾小校区が立ち上げ済みです。

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答	
通学方法	奥出雲交通による運行について	現在、奥出雲交通の状況では、更なるスクールバス対応は無理では？	高尾	現状では、奥出雲交通路線の活用を主として、バス停の位置や運行時間の調整を考えていますが、具体的な児童の状況をもとに、スクールバス配置も含め、保護者の皆さまと協議を進めていきます。バスの運転手については、路線バスにしてもスクールバスにしても同様の課題があり、奥出雲交通、地域づくり振興課とも連絡を取り合いながら進めていきます。	
		昨年(平成30年)の説明会では「奥出雲交通の路線に合わせる」との話であったが、今日の説明ではほかの選択肢も検討するという認識でよいか。	高尾		
		現時点での町教委の考え方は？	三成		
		輸送(子供の通学)について、中学生が利用しているバスに小学生が混じるのは難しいのでは。	阿井		
		奥出雲交通は、バスの運転手を募集しているくらい人手不足を感じているが、子どもたちが安心・安全に通えるのか。	馬木		
	安全対策について	1人で下校する際の安全対策(車、有害鳥獣など)をどう考えているか。	高尾	現状においても、大事なことであり、個別事情を把握し、具体的な対策をとっていきます。	
		馬木地区は、他の地区に比べても積雪量が多い。通学に間に合うまでに除雪がきちんとされるのか。	馬木		
		バスは小学生専用か？登下校で各地区一斉にバスとなれば安全対策をしっかりとしてほしい。中学生、高校生の一緒のバスであれば、席とりなど小学生に不利益がないようにしてほしい。	馬木	中学生と同じバスを想定しています。席取りについては、ルール作りや弱い立場のことを考える心を育てたいと考えます。	
	具体的な運用方法について	スクールバスでも登校に1時間かかる地域があるはず。財政等の問題で通学方法が十分に確保されず、保護者負担が増えることが不安。シミュレーションをしているか。	八川	1時間以内を目指しているが、現行のままの運行ダイヤではすべてを解決できないので、様々な可能性について地域交通担当課と協議をしながら、具体案を示していきます。	
		通学支援の具体的な案は。	横田		
		馬木地区は山々の谷に集落が広がっていて、奥が深い。通学についてのシミュレーション、具体的な日程を示してほしい。	馬木		
		どのような通学方法を想定しているか。	三沢		
		下校バスでは、低学年児童が寝てしまうのでは。付添いの大人がいるのか？	馬木		保護者や地域の見守りサポートとの協働を含め協議したいと考えます。
		下校バスに乗り遅れた場合や集団下校時の対応は？	馬木		乗り遅れないよう学校が対応します。集団下校時には教員が同行するようにしていますが、場合によってはタクシー活用なども検討する必要があります。
		周辺整備について	バス路線は、大畝別れまでで大峠まで行かない。大峠までの除雪は12時くらいにバス路線が優先して除雪される。除雪が終わってから子供を送るとというのが現実になる。今、大峠は、道路の拡張工事が進められているが、統合されるまでに、大峠の上までバス停ができるのを実現してほしい。		馬木
	* その他	通学時間について、1時間以内するという根拠を聞きたい。	横田	国の手引きで示されていますが、現在1時間以上かかるようなところもあるので、その地域も含めて適切な支援、見直しをしていきたいと考えます。	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
校区の意向とりまとめ	再編方針の別案提示について	合併しなかった場合の方針は出さないのか。	阿井	校区ごとで十分に協議・検討いただいた上で、結果として再編方針以外の別の意向を決定する校区もあろうかと想定はしています。
		町として、合併しなかった場合の方針を保護者に示してほしい。	阿井	
		再編方針とは別な再編(例:隣接地区との2校合併)は選択肢としてあるのか。	三沢	
		再編方法については、2校統合だけでなく様々な選択肢を提供してほしい。	八川	
	とりまとめた意向の取り扱いについて	子どもたちの教育環境を考えていく中で、再編統合についていろいろな組み合わせ、いろいろなスタイルの合併スタイルがあるということでもいいのか。	横田	この方針が教育委員会の考えるベストだと思っ ていますが、教育上の観点だけではなく、地域 の考えも含めて考えていくべきで、協議会で出 された結論については、その方針で進めさせて いただきます。再編への方向性は、各地区にお いて様々な可能性、結論があると考えていま す。(例:今は早いので5年後もう一度議論す る、など)
		地域協議会で「当面単独」という判断をすれば認めてもらえるのか。	阿井	
		再編反対の場合どうなるのか。しない場合もあるのか。	亀嵩	
		例えば、再編はしませんという地区の結論について、どう考えるのか。	鳥上	
	各地区意向が相違した場合について	地区別の協議会で出た結論については、町としてそれを支持するということでしょうか。	布勢	来年7月の段階で、再編方針に合意いただいた 地区で合同の再編準備委員会に移行していくこ とを想定しています。再編方針を基に各地区で 考えていただいた中で、再編しない学校も出て くるなど様々な判断があると想定しています。
		4地区別々の協議をどこの時点で一つにまとめるのか。	横田	
	* その他	ある地区で賛成、ある地区で反対となったら。	横田	総意ということにはならないかもしれませんが が、同意を得られる方法を考えていきたいと考 えます。また、今回再編を見送るという決断の 中で「今回は見送るが、5年度に再協議する」 「全校児童が〇〇人になったら議論する」とい うような結論など、その意向を見直す機会を確 保していきます。説明会の意見等だけでなく、 今後の校区別協議会での協議についても全地区 で共有したいと考えています。各地区の意向は、無 にならないよう尊重します。
		最終的には、来年多数決で決めるということですか。	横田	
		来年の7月までに地区の意見を取りまとめて、集約するのが難しいとなった場合、どうなるのか。	布勢	
		地区で再編議論をすることは良いこと。ただ、令和2年(2020年)7月に「合併をしない」と判断した場合、その後意向を変える機会を持っていないのか。	三沢	
		各地区の意見は公表予定か。また、地区ごとで結論が異なる場合でも、各協議会の意向が無にならないように取り扱って欲しい。	三沢	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
三成小校舎移転	移転及び改築の理由について	現校舎の移転理由は、耐震性の問題でよいか？ であるなら、なぜ仁多中学校の隣地なのか？ じっくり考えて一番いい結果を出してほしい。	三成	三成小学校の移転改築については、危機管理上の課題解決、他用途教室の転用繰り返し行ったことにより不足している教室等施設を含んだ新校舎の建築が現敷地内では困難であること、また、小中一貫教育を見据えての建設となります。また、全室エアコン、無線LANの設置やトイレの洋式化、防犯カメラ、エレベーターの設置など教育環境の向上が見込まれます。新校舎は特別活動室の転用など1学年1クラスでも2クラスでも対応可能なように教室、レイアウトの工夫を作っていく計画をしています。
		様々な課題の解決をみてから、移転を決定すべきでは？	三成	
		なぜ仁多中学校に隣接しているせまい土地に立てることになったのか。	阿井	
		三成小学校は現状の場所で新築できないのか。個人的には統合賛成だが、なぜ移転になるのかの説明が足りない。もっと立派な校舎・体育館・グラウンド作って環境を整えた上での統合提案なら非常に賛成できるのだが。	亀嵩	
		各学年2クラスの新校舎を建て、合併して数年後、1学年1クラスも近づいてくる。今2クラス想定の大きな建物を建てる必要があるのか。	阿井	
	移転先地盤について	移転先(仁多中学校敷地内)の地盤調査等をされたのか。	三成	地盤調査はすでに行い報告を受けており、建設上問題ないと認識しています。体育館も竣工時と比べ、現状では子どもたちの安全性が確保される状態となっています。
	改築図面(設計)について	移転は検討段階でなく図面が出来上がっているということか。	三成	移転については、教育委員会、議会を経て予算化し、昨年度設計を行い、今年度から工事に入る段階となっています。再編を見込んだ整備をすべきでは、と議会等から助言をいただき設計を行いました。再編が確定してから校舎を建てるべきとの意見もありましたが、未耐震化施設への早期の対応を含め協議した結果であると理解いただきたいと思います。現在の三成小の規模に基づいた設計ですが、学級数によって多目的スペース等を普通教室として運用できるような設計にしています。
		三成小校舎移転と学校再編は別の話。校舎をどのようにするのが保護者として不安、疑問あり。既に再編を想定した設計となっているのか。	三成	
		三成小移転の新校舎は現在の三成小の規模に沿ったものとの説明であったが、再編したのちに増築するということか。	布勢	
	該当保護者への説明について	三成小の移転について、三成地区、高尾地区の反応はどうなのか。	阿井	説明不足により、疑問や不安をお持ちの保護者がいらっしゃることは認識していますので、仁多地区全体も含めて情報提供や説明を重ねていくとともに、統合後の小学校も見据えて設計をするよう議会からも指摘がありました。実際の再編時の開校に向けては、要望も聞きながら協議を重ねていきます。
		三成小の滝の上移転について、仁多地区の保護者全員に説明されるべきではなかったのか。	亀嵩	
		来年7月に統合への方向性が出たときには、三成小の工事は進んでいるが、他の仁多地域の保護者が意見を言える場は設けないのか。	亀嵩	
	* その他	三成小学校の建て替えについて、設計規模は、統合を見越した形になっていると聞いている。統合について県・国からの補助金がたくさん出るという声掛けがあるのか。	布勢	三成小学校の改築について、県や国から「統合するような規模を作ったら補助金が出るから」というような指示はありません。

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
町としての教育ビジョン	具体的なビジョン(目指す子ども像など)について	町全体で総合戦略に取り組み郷土の誇りを自覚しながら、いい環境で子育てができるよう教育ビジョンを示してほしい。	布勢	町の目指す子ども像として「奥出雲町への愛着と誇りを持ち、自らとふるさとの未来を切り開こうとする子ども」を定めました。大きな目標を掲げながら、各学校において児童、教員、保護者、地域の皆さんが一体的に取り組めることが重要と考えます。この説明会を通じ、住民の皆さんの教育への熱い思いを感じました。「良い教育をする」と教育委員会がただ言うのではなく、保護者、地域住民と一緒にこの課題を考えることが、どのような結論になっても、よい教育につながると考えます。再編後の学校の特徴として、20人規模となり、より切磋琢磨しながらの教育が実現できます。その中で、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力等が大きな集団の中でよりできていくと認識しています。
		現在、雲南市に在住している。今後、奥出雲町へ戻ったときに同等な教育が受けられるのか不安。町として、どうい教育を目指すのか知りたい。	三沢	
		(仁多地域で1つになって)どうい学校を目指すのか、どうい子どもを育てたいのかビジョンを示してほしい。	三成	
		横田地区4校を1つの学校にまとめたときの教育ビジョンを聞かせてもらいたい。	馬木	
		教育長としてどのようなビジョンを持っているのか	馬木	
	地域との関わりが減ることについて	再編後、各地区の特色ある活動が失われると思うが、その部分を補う方法をどう考えているか。地域の独自性に配慮しないと、結果として画一的な子どもになり、個を大事にした教育が疎かになるのではと危惧する。	八川	どんな教育をしていくのか、は非常に重要であると認識しています。目指す子ども像を実現するために、ふるさと教育、キャリア教育、学力育成の3本柱で取り組んでいきます。ふるさと教育を更に高めていくとともに、学年ごとに様々な地区に出かけていくことや、社会教育のつながりなど、新たな地域とつながる方法を考えていきます。
		再編方針の中身が「数の原理」にしか沿っていないように感じる。今は、地域の方の支援の中で幼児期から様々は体験経験ができています。その積み重ねが教育だと思っている。数合わせの話ではなく、どんな教育をするのか、どうしたら奥出雲町を持続可能なまちにできるのかという観点で協議してほしい。	八川	
		(児童数等)様々な基準を満たさないからと言って、全てが劣るわけではない。各地域の教育を特色あるものにした方が教育の充実への近道なのでは？	亀嵩	
		ふるさとを愛する心は、地域の中で育つことで出来あがる賜物。郷土を愛する人に育ってほしいが、再編後そのような教育ができるのか。	亀嵩	
		今後、複式学級となる子の保護者として、地域とのかかわりが減ることが予想され寂しくもあり、何が子どもにとって一番幸せなのか考えてしまう。もっと教育委員会として明確な姿を示してほしい。	馬木	
	小中一貫教育について	考える方向については、小中高一貫した地域教育を高めるといことなのか。	横田	目指す子ども像を幼小中高で共有しながら、連携を強めていきたいと考えます。今後、奥出雲町に合った具体的な小中一貫教育を創り上げていきます。
		奥出雲町独自の小中一貫教育を進めることがあるなら、転入転出される子どもにも不利にならないように進めてほしい。	三成	
		三成小移転の話から学校再編に話が変わったので、最終的には小中一貫教育を目指すべきでは。そのあたりを示していただけると、奥出雲町の教育としてわかりやすいと思う。	三成	
		新学習指導要領の実施が迫り、20年後には小中ともに200人を切ることが見えている中で、小中一貫校、仁多中に隣接して小学校を立てるのは、悪くないと思う。	阿井	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
地域とのつながり、再編後の地域	地域衰退化への懸念について	現在、布勢小の児童は布勢地区内を授業などで探検し、地区住民も声をかける機会が多い。統合すれば、どのように地域と関わりを持つつもりか。小学校がなくなれば地域はかなり寂れる。そこについてどうお考えか。	布勢	学校は、地域コミュニティの中心的役割を長い間担ってきたとともに、地域が学校を支援し、子どもたちが育ってきました。地域から学校がなくなるかもという皆さまのお気持ちをしっかりと受け止め、子どもたちの教育にとって、望ましい教育環境は何かを一緒に考えながら、今後の地域づくりをどう描いていくかを十分に話しあって参ります。
		現状の場所から移転すれば、三成の町は寂れる。小学校を中心とした街づくりを考えるべき。なぜ移転先が仁多中隣地かわからない。	三成	
		町の合併の時、鳥上では「合併後出雲、松江に近いところに人が集まる。鳥上はどうなるんだろう」という意見があった。合併後、長者の湯なども立ち、仁多域に物が流れていくような感じがしてならない。	鳥上	
		Iターンで八川地区にきた立場から、「地区に学校が有る・無し」で地域格差が広がるのではないか。	八川	
		Iターンなどを考えるとき、地元には学校があるというのは、親にとってとても大事なこと。各地区の小学校がなくなるが、奥出雲町の人口を増やすことにつながるのか疑問。	布勢	
	子どもと地域の関わり度について	阿井の中には、子どもから年寄りまでが集まる機会がある。仁多で一つの学校になった時、そういう機会があるのか。	阿井	全ての活動を現状通りとすることは難しいですが、学年別の教育活動であったり、公民館、地域主体でいろいろな行事への参加、体験を続けていくことを大事にしていきたいと考えます。また、目指す子ども像を実現するために、ふるさと教育、キャリア教育、学力育成の3本柱で取り組んでいきます。ふるさと教育はその根本であるので、更に高めていきたいと考えます。
		地区行事と学校との調整が可能なのか。	亀嵩	
		子どもが成長する場合は学習だけでない。地域とのつながりがかなり減ることへの担保はどう考えているのか。子どもたちが将来馬木地区へ戻ることを考える教育をどう進めるかが重要。	馬木	
		幼稚園開園の際、「三沢の子は三沢で育てる」との共通認識で取り組んだ。再編すれば、地域と子どもがつながる場面が減っていくことを懸念。子どもたちが地域に戻ってこれるような環境づくりをお願いしたい。	三沢	
	役場内の連携、取組について	昭和の仁多中学校統合も少子化を想定してのものだった。当時からを鑑み、子どもをいかに増やしていくかという政策がどのように取り組まれたか、結果どうなったかが置き去りにされているのではと危惧している。	三成	学校再編は、町総合計画にも盛り込まれており、町全体にとっても重要なことです。人口増に向けてのビジョンは、町人口ビジョンや町総合戦略に示されていますが、計画通りに行っていないところもあります。教育委員会としては、良い教育、教育環境を整える中で、残りたい、帰ってきたいという子どもたちを育てるのが役目だと思っていますが、教育委員会のみならず、町全体で地域の実情を理解し、地域の皆さまと一緒に考えていきます。
		高齢少子化について、将来を見越した奥出雲町の対策と学校の統廃合がどう連動しているのか。教育委員会と町とがどの程度の検討がしてこの統合計画が出したのか。	阿井	
		人を増やすにはどうしたらいいかということも含めて、地域の皆さんと一緒に考えて進めるべきではないのか。十分に慎重な議論をすべき。	布勢	
		地域の実情をもっと町が理解し、一緒に協議する場が必要。町も様々なデータを提供してほしい。	亀嵩	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
再編後の共用施設 (体育館、校庭、ランチルーム)	体育館、校庭(運動場)の整備方法について	もともと体育館、運動場は中学校のものであり、小学生が思いっきり使えないのでは。学校行事等で重なることもあるので、小学校、中学校で別々に整備すべき。	三成	校庭はフィールド(芝生)部分と想定しているので、広さ等、小学生もののびのび利用できることを認識しています。ご指摘いただいた部分の調整を含め、子どもたちのことを第一に考え協議、説明していきます。武道場でも体育をできるように改修します。まず、安全上の問題がないようにしていき、さらに体育館、運動場、教室をより良くする計画を今後考えていく必要があると認識しています。
		適正規模、適正配置から、小学生用の体育館、中学生用の体育が必要。体育館一つでは、心配がある。	阿井	
		中学校隣接地に建設される統合小学校で体育館一つではなく、小学校用のものを作っておくべき。	阿井	
	校庭の構想について	陸上競技場が小学校のグラウンドになってくと思うが、小学生が毎日全天候のグラウンドを走るのはいくつか聞いたことがある。砂のグラウンドで遊ばせたい。	阿井	グラウンドについては、トラック内の芝生を想定しています。遊具は中庭に設置予定です。松江市では全部芝生のグラウンド化している状況もあるので、松江市の安全対策実施状況も参考にしながら、検討していきます。
		三成小移転について、校庭・遊具は。公認グラウンドの使用方法は。	亀嵩	
		校庭の予定図面があるか?どんな校庭にするつもりか?	三成	
	具体的な施設共用方法について	新しく建つ三成小学校について、体育館とランチルームの中学校との共用のシミュレーションはされているのか。	亀嵩	ランチルームについては、建設当時と比べると生徒数に余裕が出てきている状況があり、人数的に共用できると考えています。どこでどのように給食を食べるのかは様々な選択肢があり、学校側とも具体的な協議をしていきます。体育は、小学生と中学生は授業時間が重ならないよう小中学校で連携し授業編成を行います。他市町村の事例でも運用しているところがあります。規格が異なるものは改修をしていきます。具体的には、体育館と武道場の活用、学年別や男女別の授業の実施の方法が考えられます。参考) 仁多中学校の今後の1クラスの人数19~26名(男:8~13名、女:10~15名)程度。
		中学校部活動で体育館やグラウンド等は放課後、土日は使われると思うが、小学校1年生から中学校1年生までの共用の具体的な考え方は。	亀嵩	
		体育館を小学校・中学校が共用するということか。体育館の授業はプッキングしないのか。	亀嵩	
		もし2校再編となった場合、仁多地域小学校と横田地域小学校で施設に差が出る。特に、仁多地域は中学校と体育館、校庭等が共用になり不安。	三沢	
		体育館とランチルームが共有であるところが非常に気になる。時間割編成など運用が可能か。中学生向け規格の建物を小学生が使うことに不安がある。	布勢	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
中学校再編の検討	現状での教育委員会の考え方について	中学校の再編が、2025年を見据えると言記載があったが、今幼稚園にいる子どもたちは、場合によっては、2度の統合を経験することになる。精神的負担などが気になるが、教育委員会での検討状況について確認したい。	阿井	<p>中学校の再編については、2009年答申では触れておらず、今回初めて触れました。今後の推移を情報提供することで、住民の皆さんと考える機会とし、結論ありきではなく「現状を認識し、今後どうすべきか」という話し合いの場を今後スタートさせていきたいと考えます。また、小中一貫教育を更に進めていこうという方針のもと、小中一貫教育を進める方法として、「1つの校舎に小中が入る」「小中の施設が隣接する」「離れた校舎で連携して行う」などの形態がありますが、小学校と中学校の結びつきを強める方向を目指していきたいと考えます。</p> <p>校舎の整備は、短期間でできるものではありませんが、両中学校の校舎の老朽化状況も見据え検討していきます。</p> <p>今後の推移で、仁多中と比べ横田中の減少幅が大きいのは、現在の仁多中の1年生が例年と比べ少なく、人数的に谷になっていることが大きいと認識しています。</p>
		中学校の再編について、教育委員会としての将来的な考えを聞きたい。	鳥上	
		具体的なイメージがあるのか。	三沢	
	発言者個人として考えについて	部活の関係で横田から仁多中に通学している子もいる現状を考えると、早いうちに中学校も統合して欲しい。	阿井	
		再編協議の中で大きく取り扱うべき。	亀嵩	
		中学校の再編についても、高校の存続、地域活性につながることで同時進行的に進めてほしい。	布勢	
	再編に伴う施設整備について	中学校の再編を見据えて施設整備をしないと、また建替えを行けなくなることを懸念している。	阿井	
		小中義務教育校のプランがあると聞いているが、横田の場合、中学校に新たな校舎を建てるのか。	横田	
	* その他	仁多中、横田中を比べたとき、約50人横田中が減っているが、この理由は。	鳥上	
		中学校再編の論理について「学年1学級では都合が悪い」ということなのか。	横田	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答	
周知の仕方	3月末の新聞報道について	新聞報道で知り、大変急な動きという印象あり。先ほどから発言があるように、住民への説明が足りていないので情報提供をもっとしてほしい。本日の説明会で出た意見に対し、町としてどういう考えを持っているのかも答えてほしい。	三成	地元住民説明の前に、新聞で大きく報道され、皆さまにご不安、ご心配をおかけいたしましたこと、お詫びいたします。	
		教育委員会側に情報提供する姿勢が見られない。全て後から聞いたことばかり。新聞報道で再編を知るなんておかしい。子どもたちにとって何が一番いいのか丁寧に教えてほしい。	三成		
		住民が新聞で初めて再編方針を知るなんてありえない。情報管理を徹底してほしい。	八川		
		新聞で再編を知った。本日、町長がお詫びをすべき。行政が勝手に話を進めている印象しかなく不愉快。	布勢		
	町の対応について	昔、中学校再編でも亀嵩地区は「地域が寂れる」と反対した経緯あり。再編問題はいち早く住民に情報を流すべきで、説明会まで下りなかったのは問題。三成小移転や移転後統合のタイミングも疑問。跡地利用を含め地域の皆さんと協議しながら進めるべき。	亀嵩		地域の皆さまと繰り返し協議を進めていきます。
		昨年(平成30年)7月、町長ともに布勢小改築について話をしたのに、今回の再編方針が示された。その時には三成小の設計も一旦止まっていたが、すでにこの再編方針を準備していたのか。	布勢		再編についての協議をしていましたが、そのときには明確な再編方針は定まっていませんでした。

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
放課後児童クラブ	設置場所、運営方法について	現時点での町教委の考え方は？	三成	現状のままでいく方法、保護者ニーズにより新校舎近くにつくる方法のどちらも有り得るので、今後具体的に検討したいと考えます。来年度、新学習指導要領の実施に伴い、時数増の関係もあります。具体的なところは、放課後児童クラブを運営する仁多福祉会や保護者の皆さんと検討していきます。
		再編後の放課後児童クラブのイメージがつかない。	布勢	
		低学年、高学年場授業の終わる時間が違う。学童はどこで見てもらえるのか。迎えの時間はどうなるのか。	馬木	
		再編後、預かり保育は再編後の学校へ1か所ずつであろうと想定するが、どのように検討しているか。	馬木	
	学童(放課後児童クラブ)への対応について、どう考えているか。	三沢		
	安全性の確保について	合併して学童(放課後児童クラブ)が三沢幼稚園の場合、安全性確保をお願いしたい。	三沢	バス運用で、安全性を確保していきます。

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
跡地利用	検討スケジュールについて	小学校は避難所であり、今後も必要な施設なので十分な検討ができるスケジュールを示してほしい。	高尾	再編準備委員会の中で、なるべく早い段階から協議を行いたいと考えます。
		現小学校の跡地利用について、どのように進めるのかスケジュールを示してほしい。	三成	
	検討方法について	統合した後、地域が疲弊しないような提案をすべき。なんでも「住民と一緒に検討」と言いながら、置き去りにされている。高田小がいい例。再編と同時進行で進めてほしい。	馬木	地域の方々とどのような活用法があるか考えていただく機会を一緒に持っていきたいと考えます。町で活用する、地域で活用するその両方の面があると思うので、一緒になって考えていきます。
		6月議会で、三成小学校の跡地活用について、町としては何か方針を出されますかという質問について、住民が活用方法を考えて、町が判断するという返事だった。住民、町民主導と言えれば聞こえはいいかもしれないが、丸投げのような感じがする。	馬木	
		跡地活用について、いきなり地域住民に任せるのではなく、教育委員会から提案もしてほしい。	三沢	

大区分	中区分	説明会での発言	会場	教育委員会としての回答
2021年統合提案 (高尾小と三成小)	統合時期について	高尾小だけなぜ1年前に統合か。(今年8月に意向を決めなければならないのか)	高尾	三成小と高尾小の合併は、この再編計画が出来る前から令和3年(2021年)合併を提案済みですが決定事項ではありません。町全体の再編は令和4年(2020年)となっており、再編方針のメリットを1年でも早く享受できるよう提案したのですが、高尾小校区保護者から「連続統合は不安」との意向もあり、他校と合わせた再編が望ましいとの考え方も理解できます。高尾小校区の意向が令和4年(2022年)再編であれば、その意向を尊重します。
		2021年4月三成小・高尾小統合は、まだ決定事項ではないのでは？	高尾	
		高尾小と三成小の統合を1年早く提案する理由がわからない。	高尾	
		三成小と高尾小が統合し、残りは後からの時間差になるのはなぜか。後から一緒にするような不細工なことほしくないでほしい。	亀嵩	
		高尾小と三成小の統合は、令和3年(2021年)4月統合で決定しているのか。他地区が再編に合意した場合は、令和4年(2022年)4月にその校舎に向けて統合するということか。	三沢	
	* その他	「8月までに結論を出せ」と言われても困る。このようなスケジュールで協議を進めるなど、保護者の意見を取り入れながら進めないと理解を得られない。再編は時代の流れで止むを得ないと思いながら、協議の回数を重ねて理解を得るようにしてほしい。	高尾	期間が短いとの意見は理解できます。協議を進める中で、期限を延ばし更なる協議を重ねることを含め検討したいと考えます。
		三成小の保護者へはどのように説明をしているのか。令和4年(2022年)4月再編の前に、高尾小との統合が予定されていることを説明済みか。	高尾	「2021年4月三成小、高尾小の統合」「2022年4月その他校と統合」は今回の説明会で初めて公式に話をしてしています。三成小校区説明会で正式に説明します。
		町教委の提案だと、2年連続の再編となり児童への負担が大きい。2021統合と2022統合のどちらが子どもにとってより良いか示してほしい。	高尾	2021統合、2022統合のそれぞれのメリット等を文書にて回答します。